

# しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171  
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



## もうすぐ竣工 酒々井小学校体育館



麻賀多神社に生息する  
フクロウを観察する窓

### 11月臨時会 のあらし 12月定例会

12月定例会は12月14日から5日間の会期で開催されました。  
町長より議案7件が提出され、審議した結果議案6件がそれぞれ  
原案のとおり可決され、議案第7号平成21年度酒々井町一般会計  
補正予算（第6号）は修正可決となりました。  
一般質問は10名の議員が、2日間にわたり行いました。  
また臨時会が11月5日に招集され、提出された7議案は原案のと  
おり可決されました。



11月臨時会  
12月定例会

平成21年度各会計補正予算などを可決・・・P2

平成20年度各会計決算を認定・・・・・・・・P5～P6

町政を問う 議員10名が一般質問・・・P7～P12

中川流域防災事業（土地鑑定評価）に関する減額修正案は賛成多数で可決されました

# 一般会計補正予算案を修正可決



千葉県施工のインターチェンジ本体工事

平成21年12月議会で可決された議案は次のとおりです。

◇酒々井町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国及び県と同様に、休憩時間を除き、1日当りの勤務時間を7時間45分に改正するものです。

なお、町民への周知期間をとるため、平成22年4月1日から実施します。

◇町長の給与及び教育長の給与並びに一般職の職員の地域手当及び管理職手当の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

町長の給料については、引き続き平成22年3月31日まで100分の20を減じた額とするものです。

また、11月の臨時議会において承認された地域手当の特例の廃止に伴い、題名を改めるものです。

◇酒々井ちびっこ天国の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

酒々井ちびっこ天国につい

て、第二期指定管理者の募集を実施したところ応募がなく、今後の募集等を含めた管理運営等について検討した結果、施設の利用状況等から現行条例での指定管理者選定は困難な状況であることから、健康づくり事業を削除するものです。

◇酒々井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の一部を改正する法律により、上場株式等に係る課税の特例及び土地等の長期譲渡所得の特別控除の制度が創設されたことから、酒々井町国民健康保険税条例の一部を改正するものです。

◇酒々井町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

「社会保険の保険料等に係る延滞金を軽減するための厚生年金保険法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、当町の介護保険料についても、保険料の延滞金に係る軽減期間を現行の「1月」から「3月」に延長するものです。

◇酒々井町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

後期高齢者医療保険料の延滞金軽減期間について、他の社会保険との均衡を図るため、軽減期間を現行の「1月」から「3月」に延長するものです。

## 一般会計

◇一般会計補正予算  
(第6号)

補正の主な内容は、酒々井小学校北校舎及び酒々井中学校屋内運動場の耐震補強・大規模改修事業、低所得者世帯への新型インフルエンザ予防接種費用の追加助成に係る経費、町道維持管理経費、耐震改修促進計画等策定事業、防災情報通信設備整備事業などによる、歳入歳出それぞれ補正です。

### 議員発議によるもの

◇改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書の提出について



# 町政2期目に向けて 小坂町長が所信表明



所信表明を行う小坂町長

町政2期目に向けて小坂町長  
が所信表明（抜粋）

町長としての2期目にあたりましては、大きく社会システムが変わろうとしている今、人口減少時代における町のイメージやまちづくりのあり方など、改めて検証・再評価を行いパラダイムの転換を図った取り組みが必要となっています。この様な認識に立ち、計画期間の折り

返しとなった第4次総合計画第3期基本計画の達成に向けたさらなる推進を図るとともに、現在策定に向けて作業が開始された新たな総合計画において、町民皆様のご意見をいただきながら、これまでのまちづくりの成果を活かし酒々井町のさらなる発展を遂げるために取り組んでまいります。

懸案であった県が実施する酒々井IC事業については、ス

ターゲットは遅れたものの、IC本体工事が発注されるなど現在順調に進められており、骨格（背骨）をなす町道墨七栄線の一部町事業も財政的に必要最小限に整理し、見直しも立ったことから、まちづくりの第2ステージとして、中心市街地の活性化、バリアフリー化を始め、「まちの顔づくり」即ち、先進福祉「千葉県一」のモデル町づくりを進めるなど、ソフト事業を中心に酒々井町の歴史的文化遗产や恵まれた自然環境を活かし、人々の交流を通じて活力あるまちづくりを進めていきます。

また、子どもたちがのびのびと健やかに育ち、そして高齢者等を地域全体で支え合い助け合えるまちづくりを進め、子どもから高齢者まで全ての人たちがいきいきと安心して暮せる「コンパクトシティ酒々井」づくりをさらに進めていきたいと考えています。

割高なものや無駄の排除では、小学校用地（借地）の解消、割高な土地改良事業債（借金）の解消に努めていきます。このためには町の一般財源が約6億円必要であるが、これら過

去の負の遺産の解消に向けて引き続き積極的に取り組んでいきます。

そのためには、安全・安心な

ど喫緊の課題への対応のほか、中・長期的には行財政基盤の安定を図り、福祉施策の充実やさらなる子育て施策など、町民参加のもと「支え合い・助け合い」による持続可能なまちづくりを一步ずつ着実に進め、確かな明日を築いていきたいと考えています。

即ち、子どもには夢を、青年には希望を、壮年には輝きを、高齢者には安全安心を届けていきたいと考えています。

そこで、

## 第1に「高齢者がいきいき暮せる町」として

高齢者や障害を持つ人たちが、いきいきと安心して暮らせるユニバーサルデザインのまちづくり、保健福祉体制の充実、高齢者等を地域全体で支える「支え合い・助け合うまちづくり」に取り組めます。

## 第2に「子どもたちが健やかに育つ町」として

子育て支援の強化や安全の確保、教育環境の整備、特色ある

教育活動を推進し個性豊かでグローバルに活躍できる健全な青少年の育成に取り組めます。

## 第3に「町民だれもが安全・安心に暮らせる町」として

最優先課題である、震災時に避難場所となる小中学校の耐震化と中川の治水対策など、子どもから高齢者まで町民一人ひとりが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民と行政との連携により取り組んでいきます。

## 第4に「活力と活気にあふれる町」として

高齢化社会を迎えても持続可能なまちづくりの財政基礎となる農業・商業・工業の連携による産業振興策、酒々井ICや南部地域新産業団地と中心市街地の活性化を図り、「コンパクトシティ酒々井」づくりに取り組めます。

## 第5に「歴史と文化を大切にしたい魅力ある町」として

酒々井の恵まれた自然景観の保全と歴史的文化遗产や地域資源を掘り起こし、観光振興による交流人口の増加を図るなど「水と緑」の魅力あるまちづくりを進めます。

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	酒々井町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決	◎
2	町長の給与及び教育長の給与並びに一般職の職員の地域手当及び管理職手当の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決	◎
3	酒々井ちびっこ天国の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	原案可決	◎
4	酒々井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	○
5	酒々井町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
6	酒々井町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
7	平成21年度酒々井町一般会計補正予算（第6号）	※	修正可決	○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。（※）は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

議案第7号平成21年度酒々井町一般会計補正予算（第6号）に対する修正動議（議員発議）

件名	提出者	本会議の議決結果	
[中川流域防災事業（土地鑑定評価）に関する修正案] 中川流域防災事業（土地鑑定評価）に要する費用1,500千円を減額するもの	齊藤 博 議員 岩澤 正 議員 菊地 宏 議員 竹尾 忠雄 議員 地福美枝子 議員	修正案可決	○
[酒々井インターチェンジアクセス道路整備事業に関する修正案] 緑越明許費補正の酒々井ICアクセス道路整備事業197,000千円を削除するもの	岩澤 正 議員 菊地 宏 議員 竹尾 忠雄 議員 地福美枝子 議員 齊藤 博 議員	修正案否決	×

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

発議案と議決結果（議員提出のもの）

番号	件名	提出者	本会議の議決結果	
1	改正資金業法の早期完全施行等を求める意見書の提出について	経済建設常任委員会 委員長 御園生 浩士	原案可決	○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

請願の審査結果

請願番号	件名	請願者名	付託委員会	本会議の議決結果	
請願第8号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める請願書	(社)千葉県労働者福祉協議会 会長 小泉 津都武	経済建設	採択	○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。



平成21年度 補正予算額

(単位：千円)

会計名	補正前	12月補正額	補正後
一般会計	5,905,252	322,904	6,228,156

人権擁護委員に  
齋藤 甲一氏

法務大臣から委嘱されている小倉洋委員が、3月31日をもって任期満了となることから、千葉地方法務局長より後任の推薦依頼がありました。

人権問題に深い理解がある齋藤甲一氏を推薦するにあたり議会の意見を求められ、審議の結果、適任と決定されました。

**議案・賛成討論(要旨)**

平澤昭敏議員

(議案第7号について)

厳しい財政状況の中、子育て支援、酒々井小・中学校の耐震化など教育環境の整備、インフルエンザワクチン接種費用の補助金等、安全・安心のまちづくり、また、J.R.京成のエレベーター設置など今後の町の更なる発展のための各種施策を高く評価する。行財政基盤の安定確保を図り、子どもから高齢者まで町民一人ひとりが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す原案に対して賛成する。

**議案第7号に対する  
修正動議・賛成討論(要旨)**

竹尾忠雄議員

(中川流域防災事業(土地鑑定評価)について)

まずは、治水対策という町民の願いを行う上では、町民の皆様の合意が必要であると思う。私も、一日も早い治水対策が実現されることを願っている。しかし、残念ながら小坂町政は調節池ありきで進めてきた結果、

対策が遅れてしまった。ここに最大の問題がある。

齊藤博議員

(酒々井インターチェンジアクセス道路整備事業について)

今回のICアクセス道路の執行について、区画整理事業の進展によって次期をずらしたのだから、常に区画整理事業の進捗を念頭におかなければならない。そういう意味から、12月末に迫った約束が履行されない恐れがあるこの時期には、慎重であるべきだ。12月議会は、この繰越をして実行すると判断する時期ではないと思う。ICアクセス道路が大事だということは承知しながらも、区画整理事業が遅れるのならば、ICアクセス道路事業も遅らせるのが普通ではないか。繰越をするにしても、3月議会で行っても何の支障もないので、この修正案に賛成する。

**議案第7号に対する  
修正動議・反対討論(要旨)**

高崎長雄議員

(中川流域防災事業(土地鑑定

評価)について)

地元からは再三の請願が出され、その都度全会一致で賛同している。先日の町長選挙の中でも、中川・トケ崎・大鷲の皆さんと中川問題について話したが、地元の皆さんは中川の振興を望まれている。

土地単価については、実際の価格はまだ出ていない。そういうことから、今回の12月補正で適正な鑑定評価を出すのが、この中川問題の入口ではないか。

御園生活士議員

(酒々井インターチェンジアクセス道路整備事業について)

酒々井町、富里市、八街市、山武市、芝山町、多古町で組織される東関東自動車道酒々井インターチェンジ設置促進期成同盟では、酒々井インターチェンジの早期完成が念願であり、東日本道路株式会社やUR、県、隣接市町村等多岐に渡り、行政や団体が係わりあっている。適正に事業を進めなければならぬ。

他行政・他団体と歩調を合わせ進捗させるうえでも必要と考えるので、修正案に反対する。

平成21年9月議会で継続審査となっていた平成20年度の各会計決算については、それぞれ認定されました

**決算審査特別委員会**

原 義明 委員長 報告

3日間にわたり委員会を開催し、執行部からの詳細な説明をもとに厳正な審査を行ったところ、平成20年度一般会計及び各特別会計決算、平成20年度水道事業会計決算ともに、それぞれ認定すべきものと決定しました。

なお、審査の過程において、今後の予算執行にあたり、次のような意見や要望事項がありました。

**全般事項**

- 町税の徴収については、厳しい経済環境ではあるが、納税者の公平性の観点から、引き続き不納欠損や収入未済額の縮減に努力してもらいたい。
- 予算の執行にあたっては、厳しい財政状況の中で編成された予算であり、計画的な予算執行を行うとともに、不用額の縮減に努められたい。
- 福祉問題については、厳しい

財政状況ではあるが、町民ニーズを再検証され、様々な福祉施策を展開し町民サービスの向上に努められたい。

**一般会計**

- J.R.酒々井駅自由通路については、町が維持管理しているが、駅構内にはトイレがなくJ.R.の利用者も利用していることから、J.R.に対して応分の負担を求めるよう協議してもらいたい。
- J.R.酒々井駅自由通路のトイレについては、清掃等はされているが、更に、綺麗で清潔な利用しやすいトイレとなるよう工夫されたい。
- 町バスの運行については、利便性の拡充を図るため、運行時間の拡大や県外への運行等を検討されたい。
- 庁用車の管理等については、環境に配慮したエコカーやコスト削減を考慮した車両の導入について検討されたい。
- 健康増進事業の各種検診については、誰もが検診の必要性を意識し健康的な生活が送れるよう、更に、受診率の向上に努力してもらいたい。
- ふるさとまつりは町のPR、

地域住民の交流の場としての最大イベントであり、補助金の増額を検討されたい。また、隣接する中央公園の活用を図るなど、充実した運営を期待する。

○住民主体の公益活動を支援するためには、町ホームページ、住民活動情報サイト内の公益活動団体に関する情報の更なる充実と日頃の活動内容のPRに努められたい。



酒々井町交流サロン「井戸端」  
(東酒々井一丁目)

に引き続き検討されたい。○史跡ウォーキング等の町事業においては、町民との協働により事業の充実を図るため、協力してくれる団体に対して必要な支援をされたい。

○公民館の利用状況については、使用料を徴収するようになってから減少傾向にある。多くの町民に身近な施設として利用されるよう、使用料を含め再検討されたい。

○町体育館については、耐震診断の結果に基づき、一日も早く安全に利用できるよう改善されたい。

○義務教育費については、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざす観点から、枠配分にとらわれない必要な予算の配分に努められたい。

○遠距離児童の通学に関しては、公平性の観点から、地域による保護者負担の格差を軽減し、安全に通学できるように



決算の議決結果

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	平成20年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会	原案認定	○
2	平成20年度酒々井町水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会	原案認定	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

決算・賛成討論(要旨)

篠田誠議員

国・県の影響を受け、大変厳しい財政運営であったと思いが、総合計画に基づく、実施計画に位置づけられた事務事業は、かなりの部分が実施されたものと考える。

教育民生の分野から主なものをあげると、子育て支援としては乳幼児医療事業、酒々井小学校放課後児童クラブの開設及び大室台小学校放課後子ども教室事業を行った。健康づくりについては、健康づくり講座や、母子保健推進のための各種教室の開催、妊婦検診の拡充及び健康診断や予防接種事業の拡充など医療管理事業を行った。生活面では、東酒々井に駅前交流センターの設置、ペットボトル回収事業等を行ったので、それらの成果を踏まえて賛成をする。

決算・反対討論(要旨)

地福美枝子議員

紙おむつや、高等学校奨学金などの支給条件拡大の要求から、程遠い状況にまだにある。住民が憩えるきれいな公園にして

ほしいという要求に応えずに、雑草ばかりの公園である。JR酒々井駅の自由通路の維持管理についても、JRに自分の負担を求めるときではないか。公民館などの公共施設利用、使用料の徴収により、予算の少ない小さなサークルは、利用をやめざるを得ない状況も生まれている。

高齢になり収入が少なくなつた町民に、介護保険料や国民健康保険税、後期高齢者医療の保険料、そして若い人たちの高い保育料など、独自の補助施策もない状況である。町民の暮らしを守るべき地方自治体としての責任と姿勢が問われる。

見通しがいまだにはっきりしない南部開発事業に、その貴重な財源を使うのは納得いかないことである。土木関係での不用品が多いことや、計画・予算の組み立てのずさんさが目立つ。要求に応えた事業もあつた

が、先に述べたように多々納得のいかない点がある。財政が厳しいというものの、一面では健全財政運営ともいっている。ならば、もう一度、町民の要求に応えること、不要不急の事業には税金を使わないという姿勢を示して欲しい。

町の考え

# そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

12月定例会の一般質問は、17日と18日の2日間に10名の議員が、町長の政治姿勢、子育て支援など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

12月定例会の会議録は、3月上旬以降、閲覧することができます。

問

志ある住民が町政に参加する道を閉ざされた事について

答

町政に参加することは大変大事なことで認識している

御園生 浩士 議員

問 今回の町長選挙時に、町議の補欠選挙も同時に行い、新しい町民の考え、新風を入れることが民主主義の本来の姿だと考えるが、町長はどの様に考えるか何う。

町長 町政に参加することは大変大事なことで認識している。ただし、町民からは議員の数が多すぎるとの声も耳にする。

福祉マップについて

問 町内バリアフリーマップ（福祉マップ）の提言があったが、町作成の災害マップに取り入れることは可能か。また、この様なマップ作成の考えはあるのか何う。

町長 洪水ハザードマップは、洪水等による災害時に浸水情報及び避難に関する情報をわかりやすく提供することにより人的被害を防ぐことを主な目的として作成する。バリアフリーの情報等の提供については、表示方法及び内容等を含め、研究・検討する。

保育から教育へのステップアップへ

問 待機児童解消を目的として定員増だけでなく、親の就労状況や所得に係

わらず、保育から質の高い幼児教育へ一歩進め、小・中一貫教育をすることは可能か何う。

町長 幼保一元化、更には小学校・中学校の一貫教育は時代の流れだと認識している。当町は小学校2校、中学校1校で小中の連携はある程度進んでいる。小学校入学前の子どもとして、一番大切な時期に力を入れることは、正にその通りだと認識している。



**問** 中学校3年生までの医療費補助・無料化をどのように段階的に実施するのか

**答** 予算策定段階であるが、小学校6年生までを対象と考えている

平澤 昭敏 議員

**問** ① 町長は、マニフェストで医療費補助・無料化を中学校3年生まで拡大することだが、今後、どのように段階的に実施していくのか伺う。  
② 入学、入園祝い金制度を提案するが、町の考えを伺う。

**町長** ① 医療費の無料化は、私のマニフェストにもあるように重点的に取り組んでいきたいと考えており、予算の策定段階であるが、小学校6年生までを対象とるように考えている。町独自の事業となることから、償還払い方式に対応した電算処理システムを構築し、稼働にあわせて、実施したいと考えている。

② 来年度から子ども手当が中学3年生まで支給され、経済的負担の軽減が図られることから、入学、入園祝い金については、今後の課題とさせていただきたい。

**信号機設置と道路整備について**

**問** ① 伊篠の松並木から国道51号へ接続する交差点の信号機設置について、町の考えを伺う。  
② スーパータイヨウ裏の道路は砂利道であるが、今後の道路整備について伺う。  
③ 今後の町道整備予定について伺う。

**総務課長** ① 佐倉警察署によると交差点は、ホンダクリオ店脇の町道を含めた十字路交差点として、町道の幅等ができれば信号機設置が可能とのことから、今後、交差点改良計画を定めるなど検討していきたい。

**まちづくり課長** ② 土地所有者との権利、利害関係が未調整であったため、町道認定されず、未舗装の状況となっている。しかし、市街化区域内であり住宅建設が進んだことから、京成電鉄(株)との協議を整え、整備に努めていく。

**町長** ③ 平成22年度から、馬橋、根古谷地区の道路改良、酒々井消防署前から国道51号成田方面への右折レーンの設置等を予定している。また、中心市街地などの主要道路の既設歩道において、段差・勾配の解消を行うことで、高齢者にもやさしい安全で安心な歩道の整備を実施していく。また、整備にあたっては、町の実施計画により事業を進めていきたい。

**問** 持続可能なまちづくり推進における優先順位と段取りについて

**答** 政策は一貫して一期、二期と続いてグレードアップしていく

原 義明 議員

**問** この度の町長選におけるマニフェストは大変多岐にわたる項目が羅列されているので、行政のトップとして更に踏み込んだ見解をいただきたく、詳細に分けて次の3点について伺う。  
① 項目が多い中でも将来展望を見据えた主たる施策の優先順位と段取りの取り付け方法について  
② コンパクトシティ酒々井、中心市街地活性化の具体的推進順番と各々の推進方法について  
③ マニフェストの「速やかに」、「3年以内」、「中長期」各々の財源と捻出方法の方向性について

**町長** 高齢化社会を迎えても持続可能なまちづくりの財政基盤となる農業・商業・工業の連携による産業振興策、中心市街地の活性化、バリアフリー化をはじめとした福祉施策の充実を実現し、先進福祉「千葉県一」のモデル町づくりを進める。

① 町民からの強い要望等を踏まえてマニフェストを作成した。政策は一貫して一期、二期と続いてグレードアップしていく。

② 町の実施計画を毎年ローリングして実施していく。  
③ 高齢化に伴い、税収が落ちていくが、町は持続的に発展していくことを見据えて、毎年度、予算編成の段階で出と入りを精査しながら財政運営を行う。





**問** ICアクセス道路事業等52億円以上の事業が実現可能なのか

**答** 南部地区に関しては、土地区画整理事業の進み具合に応じて実施していく

齊藤 博議員

**問** 町長が平成30年度までに実施すると公約している土木事業を中心とした事業は財政的に大変困難であり、福祉分野の施策を後退させる結果になる。ICアクセス道路事業等52億円以上の事業が実現可能なか伺う。また、これらの事業は国庫補助を前提としているが、今後の見通しは如何か。

**町長** 基本的には平成20年度に作った「酒々井町のまちづくり」を精査しながら実施していく。その時々々の経済情勢を把握し、毎年修正しながらやっていくものである。土木事業については全体メニューとしてあるが、南部地区に関しては、土地区画整理事業の進み具合に応じて実施していくものである。また、事業の執行段階で当然経費の節減を図り行う。

**南部地区開発事業について**

**問** 都市再生機構とオリックス不動産との土地売買契約の期限が12月末と迫っているが、未だに契約されていない。町へは何の情報も伝えられていないのか。町の見通しを伺う。また、オリックス不動産の事業計画が提出されない

と何も明らかにならないが、その時期はいつ頃で、町民への公表はどの様な方法を考えているのか。

**町長** 土地区画整理事業の認可が半年近く遅れ、土地区画整理審議会での仮換地指定も終了していない状況を考えて、12月末までの本契約は厳しいと認識している。

**選挙公約について**

**問** 町長が公約した先進福祉「千葉県一」は、介護、医療、福祉の三位一体でなければ達成できないと思う。町長には「医療」の観点が欠けていると思うが、「医療」の経費についてはどの様な見通しを持っているのか伺う。

**町長** 介護制度、医療制度に町民が向いていくのではなく、人生を幸せに、住民満足度を感じて生活することにより、医療費の増を抑制する方策になると思っている。心と体の健康づくりのソフト事業を行いながら、本当に医療が必要となった方々に対してはきちつと対応していく必要がある。

**問** 緊急情報はメールでお知らせ

**答** 実施例を良く研究する

川島 邦彦議員

**問** 防災無線の活用に加え、防災・防犯や学校などの緊急情報を希望者に携帯電話へメールで知らせる（仮称）安全・安心メール」サービス開始の考えはあるか伺う。

**町長** 実施例を良く研究して、安全・安心の面から必要なものと考えている。

**町長の政治姿勢について**

**問** ① 重点施策を進めるにあたり、財政バランスをどの様に認識し取り組んでいくのか伺う。

② 法人町民税を増加させるなど税収の多角化を図るため、南部地区・国道沿線・駅前周辺整備等による活性化も選択肢であると考えているが如何か。また、住民税の水準を維持するため働き盛りの若年層の定住施策も重要ではないか。

③ 情報提供等丁寧な議会運営を望む。

**町長** ① 引き続き財政健全化判断比率や財政調整基金残高の状況を勘案し、財政の健全性に留意しながら行財政改革の推進と自主財源の確保に務め、その財政状況に応じた見直しを行いながら取り組んでいく。

② 酒々井ICと関連する道路を整備

して安定財源を確保していくのが1つの方策であり、既存の墨工業団地にも波及効果が及びつつある。

**高齢者宅訪問調査について**

**問** ① 調査概要と活用方法について伺う。

② 高齢者を支える家族等の調査も必要ではないか。

③ 調査結果をできる限り公表しボランティア活動等との連携を図るべきではないか。

**担当参事** ① 75歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に個別に訪問し聞き取り調査を行い、急病等緊急時の対応や社会福祉協議会の活動、地域包括支援センターの訪問事業・見守り事業による日常生活の支援をしたい。

**町長** ② 心と体の健康づくりとして、介護者にも視点を置き、保健センターに相談窓口を設置したので、更に充実したい。

③ 町と社会福祉協議会、地域包括支援センター等で連携をする中で、役割分担を含め明確化していかなければならないと考えている。

問

ふれ愛タクシー利用の改善要求は

答

時期を見て判断していきたい

地福 美枝子 議員

問 小坂町政二期目の町づくりについて次の点について伺う。

- ① ふれ愛タクシー利用については土日利用、時間など、利用の改善要求があるがどのように考えているのか。
- ② これまでの自治会お膳立ての座布団集会ではない方法を、考えるべきではないか。
- ③ こどもの医療費無料化について、今後の具体的な予定を伺う。
- ④ 保育園の待機児童の現状と解消策はどの様になっているのか。また、保育料については、所得の納税額に応じて更に細分化し引き下げを図るべきではないか。
- ⑤ 先の自民党政権時に野党四党で出した「後期高齢者医療制度の廃止」を町長として町民の願いに答え、国に廃止を要求するべきではないか。
- ⑥ 町職員の58歳退職勧奨を今後も続けるのかどうか。
- ⑦ 高齢者対策の一つとして一人暮らしの訪問調査を、老世帯にも行っただろうか。

町長 ① 高齢化率が上がれば必要な

ことで、時期を見て判断していきたい。

② 自治会を中心に地域の問題・課題に真摯に取り組むことは必要なことで、それ以外にも、声が掛ければ、課題を抱えている住民のところへは、行かせていただきたい。

③ 第一段階として小学校6年までとし、その後、速やかに中学校3年までとしたい。

教育長 ④ 厚生労働省の基準による

待機児童は、現在発生していない。保育料については行政刷新会議の事業仕分けで見直しの評価結果がでており、国の緊急経済対策でも検討するとあることから、その動向を見守りたい。

町長 ⑤ 現行の制度を廃止した後の

新たな制度を検討する「高齢者医療制度改革会議」の推移を見守りたい。先ず議会で意思を統一していただくと重みがある。

⑥ 制度上、勧奨の行為として職員にお伝えしている。

健康福祉課長 ⑦ 一人暮らし高齢者の

調査が終了した後、対象を拡大して二人暮らし高齢者も予定している。

問

執行権者が不在とならないためにも副町長の設置を提案する

答

複雑多岐にわたる行政需要へ対応するためにも必要性を感じている

篠田 誠 議員

問 ① 医療、福祉及び教育に対して、ここ1、2年で行いたい施策及び4年かけて行いたい施策について伺う。

- ② 1期目の時は教育長不在の期間もあり教育施策に不安定な状態もあった。また、当町は副町長を条例で廃止しているが、他の市町村で首長が病氣等により執行権者が不在という事態が発生している。財政力指数が向上してきた今、当町でも同様のことが起きないように、副町長を設置することを提案するが、町長の考えを伺う。

町長 ① 医療分野では、中学校3年

生までの医療費補助・無料化を重点的に取り組んでいきたい。新型インフル

エンザ接種に関する助成については、11月に補正をさせていただいたが、今後もこうした事態には速やかに対応したい。福祉分野では、JR酒々井駅、

京成酒々井駅へのエレベーター設置などのバリアフリー化のためのハード整備と併せ、ソフト面では心と体の健康

づくりに引き続き取り組んでいく。また、高齢者等を地域全体で支える「支え合い・助け合うまちづくり」として、

ひとり暮らし高齢者訪問「声かけ運動」見守り体制づくりを進め、さらに持続可能な新しい福祉体制の確立として、先進福祉「千葉県一」のモデル町づくりについては、委員会を設置するなど、

ご意見を伺いながら、実現に向けて努力していきたい。教育分野では、懸案であった酒々井小学校北校舎、大室台小学校管理棟、酒々井中学校体育館及び管理棟の補強工事を行い、耐震化を早急に進めていく。また、小中学校の情報化の推進として、校内LANを整備し、パソコンを増設する。その他、特色ある教育の推進についても引き続き取り組んでいきたいと考えている。

② 地方分権改革等の推進により、地方公共団体の役割や事務事業が大幅に拡大する中、当町においても安全・安心など喫緊の課題への対応をはじめ、

子育て支援や教育環境の整備、施策など、複雑多岐にわたる行政需要への迅速、適切な対応が求められている。こうしたことから、副町長の必要性を感じているところであり、検討していきたい。

問 再選を果たした小坂町長2期目の町政運営について

答 先進福祉「千葉県一」のモデル町づくりを進める

佐藤 修一 議員

問 ① 平成17年の町長選挙で初当選を果たした小坂町長を待ち受けていたのは厳しい町財政であった。その中で「5つの政策」「3つの約束」を掲げて町政の舵取りを行い、政策面においては、徐々に成果も現れている。特にまちづくり会議等での安全・安心の町づくりや公民館活動の施策等、町民が行政に参加しやすい環境づくりが整備されてきたと、多くの活動団体も認めるところである。この様な状況の中で2期目の再選を果たした小坂町政の第2ステージ「新しい酒々井町のまちづくり」をどのように進めていくのか伺う。

答 ① 今すぐ手を打つべきものと、中・長期的に行財政基盤の安定確保を図り、町民のご意見・ご協力をいただきながら、中心市街地の活性化、リアフリー化をはじめとした「まちの顔づくり」に取り組むなど福祉施策の充実を実現するとともに、先進福祉「千葉県一」のモデル町づくりを進め、町民参加のもと「支え合い・助け合い」による持続可能なまちづくりを一歩ずつ着実に進め、確かな明日を築いていきたい。

② 何時起きるかわからない水害状況等を踏まえると、3度の治水対策の請願を議会に上げ採択を受けている被災地の住民に対して、一日でも早く中川流域における水害リスクの軽減を図り、生命、財産を守ることが町としての重要な課題と認識している。中川治水対策の抜本的な対策として費用対効果を検討して調節池が優れた案ということはすでに議会に説明してきたとおりである。よって今議会に用地買収費の根拠となる土地鑑定評価の予算を計上しているの、議会のご理解、ご協力をお願いしたい。

問 治水対策は町民の合意が必要である

答 間接民主主義で議会の同意をいただく

竹尾 忠雄 議員

問 ① 南部関連事業、調節池の見直しを公約に掲げた引地氏に500票差まで追い上げられた町長選挙の結果を重く受け止めるべきである。特にICアクセス道路、小川ピーナツ店からJR酒々井駅へのシャトルバス運行のための道路(02-006号線)、議会で2度も否決された調節池等は、見直すべきと思うが、町長の考えを伺う。

② 町長は、何が何でも調節池を作ろうとしているが、治水対策は町民の合意が必要である。二分している状況で3ヘクタールの水田を買収できると思っっているのか、町長の考えを伺う。

町長 ① 02-006号線は、中心市街地を避けた南部との連絡道である。駅を目指して東酒々井やふじき野に車が入らないよう、市街地の混乱を避けるための迂回路となる。また、中川治水対策は、一刻も早く治水対策を望む被災住民の立場に立ち、一日でも早く中川流域の水害リスクの軽減を図り、生命、財産を守ることが町としての重要な課題であると考えている。引き続き、議員のご理解を得られるよう説明

を行っていききたい。

② 意見が二分しているというが、京成下を拡幅すると14億円もかかる所を調節池なら5億円でできる。この状況で、本当に意見が二分しているのか分からない。調節池3ヘクタールの区域のうち、2.6ヘクタールを買収することになり、町民の合意として、議会の同意をいただき進めていく。

南部開発関連について

問 都市再生機構が行う区画整理事業は67億円。オリックス不動産との土地譲渡契約がなければ区画整理事業は進まないことになる。町長は11億円の税金を使ってアクセス道路を作る工事を始めたが、区画整理事業が進まなければ行き止まりの道路になる。土地譲渡契約がされなくても、町長は区画整理事業が進むと思っているのか。

町長 都市再生機構からは、土地区画整理事業の認可を得ているので、予定通り進めると聞いている。企業がこないと事業が進まないということではない。国の認可を受けており、保障されている。

問 町長の政治姿勢について

答 選挙結果を真摯に受け止め、今後も公平な町政運営を行っていく

岩澤 正 議員

問 ① 町長選挙の結果は、町長に対して町民は厳しい審判を下したと言える。その理由は、町政経営とあって町民の暮らしを顧みない町の社長になっていたことにあると思うが、このことをどのように受け止めているのか。

② 選挙公約と来年度予算編成について、どの様に考えているのか。特に南部地区の区画整理事業とICアクセス道路が完成すると町長の任期中（平成25年）までにいくら増収になるのか。また、先進福祉「千葉県一」を目指すのなら国民健康保険税を引き下げるべきと思うが、町長の考えを伺う。

町長 ① 選挙結果を真摯に受け止め、今後とも町民のこと、町の発展を第一に考えた公平な町政運営を行っていく。  
② 限られた財源の中で効率的かつ効果的な財政運営に努め、高齢者や子育て支援等のサービス向上に努めていく。南部地区からの税収は、区画整理事業の完成期限である平成30年3月までに約1億円の税収を想定している。また、国民健康保険財政は厳しいながらも基金の取り崩しなどを行い、安定

した国保財政の運営に努めている。なお、国保運営協議会において、一般財源の投入の是非、保険税の見直し等を議論してもらい、方向性を見いだしてもらうなどの方策が必要であると考えている。

印旛沼二期事業について

問 ① 平成22年度着工のためには、短期間に農家の同意を得なければならぬ。町は事業の必要性を農家に説明する必要があると思うが認識を伺う。

② 宗吾機場の排水ポンプを新規にする計画があるが、町長は補修対応と考えている。40年経過しており、大きな故障をした場合は大変な被害がでる。新規に変えるべきと思うが如何か。

町長 ① 関係機関により3回の説明会が開催され、8月に農家負担が提案され併せて事業の意向確認が実施された。同意などの手続きは、印旛沼土地改良区等と連携して推進していきたい。  
② 新規にする計画は、排水能力をアップするのではなく、排水能力を回復させるものであり、建設工事に多額の費用を要する上に流量も増えない。補修等に対応するのは当然である。

その他の質問

平澤昭敏 議員

- ・町財政の見直しについて
- ・ユニバーサルデザインのまちづくりにおける高齢者、障害者対策について

齊藤 博 議員

- ・ちびっこ天国の活性化について

地福美枝子 議員

- ・JR、京成の両酒々井駅のエレベーター設置について

篠田 誠 議員

- ・中川治水対策について

佐藤修二 議員

- ・街区公園の維持管理について

竹尾忠雄 議員

- ・まちづくり交付金事業の変更(第3回)について
- ・町長選挙公約(マニフェスト)について
- ・ちびっこ天国の今後の運営について

平成21年11月臨時会で可決された議案は次のとおりです。

◇酒々井町長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

町長の6月期の期末手当の支給月数を2・125月分から0・2月分引き下げ、1・925月分に、12月期の期末手当での支給月数を2・325月分から0・15月分引き下げ、2・175月分に改正し、年間支給月数を4・1月分にしようとするものです。

なお、6月期の期末手当については、特例措置により、すでに0・2月分を引き下げていることから、年間引き下げ分0・35月分の一部に充当するものです。また、教育長の期末手当についても同様の措置を実施します。

◇町長の給与及び教育長の給与並びに一般職の職員の地域手当及び管理職手当の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国の人事院勧告及び県人事委員会勧告に基づく、一般職の職員の給与改定の実施に伴い、職員一人当たりの平均年間給与が

大幅な減額となることから、激変緩和に対応するため地域手当を支給する条例改正を行うものです。

◇酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

一般職の職員の給与改定について、国及び県の改定に準じ、給料月額引き下げ、住居手当、期末・勤勉手当の改定を行うものです。

◇酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

一般職の職員の給与改定に伴い、経過措置の適用を受ける職員の算定基礎額についても、今回の平均引き下げ分0・24パーセントを考慮し、算定基礎額に100分の99・76を乗じた額にするものです。

一般会計

◇一般会計補正予算(第5号)

補正の主な内容は、平成21年度の人事院勧告に基づく給料及び期

末・勤勉手当等の改正と、特例として支給を停止していた地域手当の支給に伴うもの、また、東酒々井交流サロンの臨時職員及び新型インフルエンザ対策として優先摂取対象者に費用のうち2千円を助成する経費などによる、歳入歳出それぞれの補正です。

特別会計

◇下水道事業特別会計補正予算(第3号)

給与等に関する条例の改正に伴う人件費の補正です。

水道事業会計

◇水道事業会計補正予算(第2号)

制度改正に伴う人件費の補正です。

議員発議によるもの

◇議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

12月に支給する期末手当の支給月数を1・725月分から0・2月分引き下げ、1・525月分にするものです。

議案と議決結果(町長提出のもの)

番号	件名	本会議の議決結果	
1	酒々井町長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	◎
2	町長の給与及び教育長の給与並びに一般職の職員の地域手当及び管理職手当の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○
3	酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○
4	酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○
5	平成21年度酒々井町一般会計補正予算(第5号)	原案可決	◎
6	平成21年度酒々井町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	◎
7	平成21年度酒々井町水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

発議案と議決結果(議員提出のもの)

番号	件名	提出者	本会議の議決結果	
1	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	篠田 誠 議員 他7名	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

町長より2件の行政報告がありました。(要旨)

酒々井ちびっこ天国指定管理者募集について

酒々井ちびっこ天国については、指定管理者制度を導入し、平成19年5月から平成22年3月末の約3年間を指定期間として管理運営を行っています。次年度以降も引き続き運営を継続するため募集を行ったが、締切日までに応募はありませんでした。

議案・反対討論(要旨)

齊藤博議員

(議案第2号について)

地域手当の支給について、町長が6月議会において、「地域手当は給料表の引き下げとあわせて導入された制度であることから、給料の経過措置を受ける職員に対し上乘せ支給になることから、地域手当は支給しない」と答弁していたのは、私はいまだに間違いだと思っている。自分で制度上好ましくない、適当でないと言っていることを今度はやるといふわけなのだから。結果がよければいいということではないと私は思う。そういう意味で反対をする。

また、酒々井町の職員には組合がないので、自分達の要求を通す部分はないと思う。町長は、常に職員の要望・意思を確認してほしいということもお願いをする。

助成に関する文書を、行政連絡員を通じ全戸配布を行うとともに、町ホームページに掲載し、町民の皆様にお知らせします。



平成21年度 補正予算額

(単位：千円)

会計名	補正前	11月補正額	補正後
一般会計	5,866,138	39,114	5,905,252
特別会計 下水道事業	385,928	325	386,253

平成21年度 水道事業会計補正予算額

(単位：千円)

会計名	補正前	11月補正額	補正後
収益的支出	383,029	△2,638	380,391
収本的支出	201,600	255	201,855

全国町村議会議長会  
創立60周年記念特別表彰

平成21年11月11日に全国町村議会議長会創立60周年記念 第53回全国町村議会議長全国大会が東京・NHKホールで開催されました。同会の表彰規定に基づき、岩澤議員が町議会議員として30年以上在職した者として、創立60周年記念特別表彰を受けられました。



岩澤議員

議会の内部構成が一部変わりました

去る11月24日、町長選挙立候補届出により、引地修一議員が、町議会議員を自動失職したことから、議会の内部構成が一部変わりました。

○教育民生常任委員会委員長 篠田 誠

○教育民生常任委員会委員 森本 一美

○佐倉市、酒々井町清掃組合議会議員 御園生 浩士

「会議録」をホームページで公開しています

酒々井町議会では、より多くのみなさんに町議会のことを知っていただくために、町議会のホームページで「会議録」を公開しています。

ご覧いただける議会は、平成15年6月定例会から平成21年9月定例会までの本会議です。今後も順次掲載いたしますのでご覧ください。

3月定例会のお知らせ

次の定例会は3月上旬に開会する予定となっています。会期の概要は、2月22日の議会運営委員会で決まります。会期などについては、議会常委員会の開催日以降、議会事務局までお問い合わせください。なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせしていきますのでご覧ください。

詳しくは議会事務局まで。

☎ 496・1171

(内線251、252)